

SUZUKA 2&4 RACE

2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第2戦
2007年 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 (JSB1000)2007
4/14 予選 SAT. 15 決勝 SUN.鈴鹿サーキット 国際レーシングコース
1周 5.807km(4輪) 5.821km(2輪)

- 同日開催 : 全日本フォーミュラ3選手権 第3戦・第4戦 / ホンダ エキサイトングカップ ワンメイクレース 2007 ~インテグラ・インターシリーズ~第1戦
- 主催 : 鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC) / 株式会社モビリティランド / 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
- 公認 : 国際自動車連盟 (FIA) / 社団法人 日本自動車連盟 (JAF) / 国際モーターサイクリズム連盟 (FIM)

鈴鹿サーキットだけの2輪&4輪ビッグイベント 国内最高峰レース、JSB1000&フォーミュラ・ニッポン同日開催

鈴鹿サーキットでは、4月14日(土)・15日(日)「SUZUKA 2&4レース」を開催。このレースの特徴はなんといっても、2輪の「全日本ロードレースJSB1000クラス」と4輪の「フォーミュラ・ニッポン」という国内最高峰レースが同じ日に観られるところだ！JSB1000は世界の舞台で戦ってきた“ノリック”こと阿部典史の参戦、ホンダワークス5年ぶりの参戦など、2007年は話題が豊富だ。フォーミュラ・ニッポンは通常約300kmで争われるレースが2&4では約250kmとなり、給油のピットストップがないドライバー勝負のスプリントレースとなる。併催レースは、世界統一マシンレギュレーション(車両規則)を採用した若手ドライバーの登竜門レースF3が、またワンメイクレースとして人気が高いインテグラの開幕戦が開催される。

そして、レースファンはもちろん、ファミリーも楽しめる「Enjoy Honda」も同時開催。気になる最新製品情報から、楽しいイベントまでワクワクの2日間を展開。春の鈴鹿サーキットへ、ぜひ皆様でお越しください！

JSB1000

決勝:4月15日(日) 12:50~(17周)

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐への第1ラウンド スターライダーが集うJSB1000の主演はだれだ!!



GSX-R1000で闘いを挑む秋吉耕佑

今年の全日本JSB1000は、まさに予測不能の状態を迎えている。その第1の要因が、2002年シーズンを最後に全日本で活動を休止していたホンダワークスのTEAM HRCが復活することだ。ライダーは、昨シーズン終了後にホンダの開発ライダーとなった手島雄介。手島は将来が囑望されるライダーであり、TEAM HRCとのコラボレートにより、どのようなパフォーマンスを発揮するかに注目したい。

第2の要因が、ノリックこと阿部典史の存在だ。「レース人生を振り返ると、いつも鈴鹿ラウンドがポイントになっていた」と語るノリック。1993年、17歳で全日本GP500にデビューしたが、その開幕戦が鈴鹿ラウンドで、結果は2位。そして1994年、ワイルドカードで参戦した日本GP鈴鹿での活躍が認められて世界GPライダーとなり、1996年の日本GP鈴鹿では、500ccクラスで初優勝も体験している。ライダーとして生まれ育った鈴鹿サーキットであり、「気持ちは自然と高ぶっていきます」とノリック。

さらに、今年はWINs SUZUKI R.T.に移籍して、キットパーツを中心に改造を施した新型スズキGSX-R1000で闘いを挑む秋吉耕佑も要チェックだ。秋吉は、2005年のシリーズ第6戦鈴鹿で、ヨシムラから8年ぶりに全日本に電撃復帰して、いきなりポールポジションを獲得しており、その実力は、連続V2王者の伊藤真一も認めるところ。

また、2005~06年に全日本ST600で連続チャンピオンを獲得した安田毅史、昨年の全日本GP250で全勝チャンピオンの横江竜司、今年からヨシムラに移籍して国内最高峰JSB1000に挑戦するSRS-J出身の酒井大作など、台風の目という存在ではなく、チャンピオン争いの一角に食い込んでくることが予想される。そしてこうしたライダーたちに対して、継続参戦組がどのように迎え撃つのか。まったく予断を許さない闘いとなることは必至の情勢だ。

さて、今大会は、全日本選手権シリーズを占う重要な一戦であることはもちろんだが、7月29日(日)に決勝レースを迎える“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第30回記念大会に向けての第1ラウンドとしての要素も含まれている。今年の“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐は、スポット参戦組のマシンはJSB1000に統一されることから、今大会に出場するマシンと基本仕様は同じ。だからこそ、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐を見据えてのスポット参戦組も多く、これが激戦に拍車をかけ、より以上に見応えのあるレース内容となるのである。



“ノリック”こと阿部典史



TEAM HRCから参戦する手島雄介

フォーミュラ・ニッポン

決勝：4月15日(日) 14:30～(43周)

レース距離は、51周＝約300kmから43周＝約250kmへ！ これまで以上に「ドライバー勝負のスプリントレース」として開催！



4輪レースの国内最高峰、フォーミュラ・ニッポンは、これまでレース距離が51周＝約300km、途中ガソリン補給、タイヤ交換のためにピットインを行うF1と同様の決勝レースが行われているが、この鈴鹿ラウンドではその内容が大きく変わり、決勝レースの走行距離が43周＝約250kmで争われるのだ。多くのチームが、レース中のピットストップなしの戦略を選択するだろう。その意味するところは完全にドライバー勝負になるということ。決勝でのピットインは不確定要素が大きく、ドライバーとは無関係な部分で勝敗が左右されることがあるが、今回はそれが無い。ドライバーの「腕」が勝敗を決めることになるのだ。そこには金曜日の練習走行から土曜日の予選までのわずかな時間で、どこまでマシンを完璧な状態に持って行くかのマシンセッティング、マネージメントの能力も必要だ。スプリントレースで求められるのはスターティンググリッド。つまり予選でどれだけ上位に食い込めるかが重要となるからだ。

金曜日の練習走行からドライバー同士の駆け引きが始まるわけで、これは観る側にとっても息の抜けない緊張状態と言っていいだろう。2007年の第2戦・鈴鹿ラウンドは速さだけではなく、精神的な面も含めた「強い」ドライバーがはっきりする戦いとなりそうだ。

国内最高峰レースがさらにハイスピードに！ 鈴鹿公開合同テストで本山哲が驚異の1分40秒台突入！！

昨年ホンダ、トヨタが新たにV型8気筒3000ccエンジンを投入。パワーが550馬力にアップするとともに、空気に優れたローラFN06シャーシに一新されて、生まれ変わったフォーミュラ・ニッポン。2006年の鈴鹿最終戦(第9戦)で記録された予選PP(ポール・ポジション)タイムは松田次生(モバイルキャスト・チームインパル)の1分42秒133。2005年も松田が予選PPを獲得しているが、タイムは1分44秒822。新生フォーミュラ・ニッポンはタイムを一気に2秒689も短縮。マシンのレベルの高さに誰もが目を見張ったが、これは進化の序章に過ぎなかった。

今年初めて、鈴鹿で行われた公開合同テスト(3月5日、6日)ではその松田、チームメイトのB・トレイイエ、同じくインパル軍団の本山哲(アラビアンオアシス・チームインパル)、そして昨年最多、5回の予選PPを記録した最速男、小暮卓史(PIAAナカジマ)らが激しいタイムアタックを展開。最後に本山が記録したトップタイムは1分40秒856。エンジン、シャーシ、タイヤとも昨年と同じにもかかわらず、最終戦からわずか4ヶ月で1秒277も短縮したのだ。いったいフォーミュラ・ニッポンはどこまで速くなるのだろうか。現時点で分かっていることは、鈴鹿2&4レースはこれまで誰も見たことのない、ハイスピードバトルが展開されるということだ。



公開合同テストで最速タイムを叩き出した本山哲

強カルーキー大挙参戦！ F・カルボーン、JP・デ・オリベイラ、 そして鈴鹿育ちの佐々木孝太に期待



佐々木孝太

昨年はL・デュバル(PIAAナカジマ)が第2戦、鈴鹿2&4でいきなり優勝を記録するなどルーキーが大暴れした年でもあったが、今年も負けてはいない。GP2帰りの吉本大樹を筆頭に、昨年全日本F3で2勝を記録したF・カルボーン(DoCoMoダンディライン)、2005年の全日本F3チャンピオンJP・デ・オリベイラ(コンドーレーシング)と、そうとうたる実績の持ち主ばかり。

そしてもうひとり、鈴鹿生まれ、国際レーシングコースから聞こえてくるエンジン音を聞いて育った佐々木孝太(チームレクリス・セルモ)だ。33歳と遅咲きだが、過去フォーミュラ・ドリーム、F3に参戦、鈴鹿F4シリーズのチャンピオンを獲得するなど、鈴鹿とフォーミュラカーの経験は他のどのフォーミュラ・ニッポンルーキーよりも豊富なのだ。鈴鹿2&4レースは孝太にとってはまさに凱旋ラン。吉本らとともにルーキーらしからぬ走りを見せてくれそうだ。



F・カルボーン



JP・デ・オリベイラ

F3 / インテグラ

F3第3戦決勝:4月14日(土) 16:00~(12周) 第4戦決勝:4月15日(日) 9:45~(17周) / インテグラ決勝:4月15日(日) 11:00~(10周)

タイトルを狙う大嶋和也、塚越広大、伊沢拓也にFCJから中山友貴、関口雄飛、安田裕信が挑む!今年もF3は精鋭たちの熱い戦いとなった

一昨年、2005年に全日本F3選手権で活躍した中嶋一貴は、昨年ユーロF3に参戦した後、今年はGP2に参戦するとともにF1ウィリアムズチームとテストドライバー契約を交わし、開幕戦で快走を披露し、一躍時の人となった。昨年チャンピオンに輝いたA・スーティルは今季F1スパイカーチームに抜擢され、開幕戦で見事完走を果たすなど、今や全日本F3で活躍することはそのままF1への道を開くことと同じと言ってもいいほど、レベルの高い戦いが繰り広げられている。

そこに今年も精鋭が参戦してきた。昨年FCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)、フォーミュラトヨタのWタイトルを獲得した関口雄飛、同じFCJで活躍した中山友貴、



大嶋和也

塚越広大

伊沢拓也

安田裕信だ。そして彼らを迎え撃つのが昨年のランク上位陣、大嶋和也、塚越広大、伊沢拓也、R・ストレイトだ。A・スーティルがF1参戦を決め、今年は自分の番だという気持ちが強いだけにトップ争いはし烈を極めそうだ。そこにFCJからのルーキーたちがどう挑むのか。いずれにせよ昨年を上回るハイレベルなバトルが展開されるのは間違いないだろう。

また、毎回超接近戦を繰り広げる日本最高峰のワンメーカーレース、インテグラ・インターシリーズが、ここ鈴鹿サーキットで開幕戦を迎える。F3、インテグラともに重要な戦いとなる鈴鹿サーキットでのレースは、シリーズを占う上で見逃せない一戦となるだろう。



中山友貴

関口雄飛

安田裕信

イベント情報!

Enjoy Honda2007開催!

鈴鹿2&4レースが開催されている4月14日(土)、15日(日)の両日、鈴鹿サーキット内でEnjoy Honda SUZUKA 2007が同時開催される。ホンダが取り組む先進技術、環境技術の紹介に加え、様々な体験を楽しむイベントが満載。ファミリーでぜひおこしください。

★イベントの詳しい情報は下記WebサイトでGet!

<http://www.honda.co.jp/enjoyhonda/>



写真は昨年のEnjoy Hondaの様子



●2007鈴鹿サーキットクイーン デビュー!●



2007年度の新しい鈴鹿サーキットクイーンが、みなさまに初お目見え!春にふさわしいフレッシュな”幸運の女神たち”にぜひ会いにきてください!

※写真はイメージです

●フォーミュラ・ニッポン グリッドキッズを一般公募で実施!●

スタート前の緊迫した空気の中、スターティンググリッドにつくために、マシンはコースを1周しグランドスタンド前に帰ってくる。そのマシンをグリッドに迎え入れる役目を果たすのがグリッドスタッフだ。このグリッドスタッフを今回は「グリッドキッズ」として小学生が担当する!



応募要項

- お子様 小学生限定(男女問いません)
※4/15に鈴鹿サーキットに入園できるチケットが必要です。
- 同伴者 20歳以上の女性限定(ご家族、ご親戚、ご友人のお子様等)
※4/15に有効な観戦券(当日券・前売り観戦券・フォーミュラ・ニッポンシリーズパドックパス等)が必要です。
- 応募方法 鈴鹿サーキット公式ホームページより応募
<http://www.suzukacircuit.jp/>
- 募集期間 4月9日(月)まで

※詳細は鈴鹿サーキット公式ホームページをご覧ください。

※写真は過去のグリッドガールの写真です。今回は小学生(男女問わず)と20歳以上の同伴者(女性に限る)となります。

※イベントの内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

●ステージイベント●

ドライバー・ライダートークショーでは、レース前の出場選手の”生の声”が聞けるチャンス！ほかに、鈴鹿サーキットクイーンやレースクイーンが出演するキャンギャルオンステージも開催。



14日(土)・15日(日)とも開催(予定) ※写真はイメージです

●鈴鹿サーキットでHonda「フィット」が当たる!●

フォーミュラ・ニッポン決勝レースの指定された順位を予想して応募すると、なんと当選者の中から抽選でHonda「フィット」が当たる順位当てクイズがスタート。今季予定されている9戦すべてのレースが対象となるので、チャンスは合計9回。

予想する対象は優勝ドライバーとは限らず、3位や5位など毎回変わるのので、フォーミュラ・ニッポンを知れば知るほど、観れば観るほど当たる確率がアップするかも!?

応募方法

- フォーミュラ・ニッポン公式サイト(<http://www.f-nippon.co.jp/>)からの応募
- 2&4第2戦受付期間:4月12日(木)まで
- 鈴鹿サーキット内特設ブースでの応募
4月15日(日)11:00まで



●国際レーシングコースを愛車のバイクで走ろう!●



SUZUKA 2&4レースの余韻が残る国際レーシングコースでサーキットクルージングを実施!マーシャルカー先導にて、愛車のバイクで走行していただけます。

- 実施日時:2007年4月15日(日) コースイベント終了後,17:00~フルコース1周(予定)
※レース進行により、開始が前後する可能性があります。
- 料金:無料(受付にてレース券もしくは入場券の確認をお願いします。)
- 参加可能車両:100cc以上の2輪車(サイドカー不可、違法改造車不可、スリックタイヤ装着車不可)
※詳細は鈴鹿サーキット公式ホームページをご覧ください。

※イベントの内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

観戦環境向上宣言!

Pit-FMラジオ放送「ビギナーおまかせ大放送774」を開局 解説ていねい、ゆったりトーク。わかりやすいがモットーです!!

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声をラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。また今回は、レース初心者にはわかりにくいペナルティやレース展開をより分かりやすく実況する『ビギナーおまかせ大放送774』を放送!

携帯FMラジオ(とイヤホン)を持ってきてね!

- 周波数76.0MHz・・・場内実況放送
- 周波数77.4MHz・・・ビギナー観戦者用放送

■鈴鹿2&4レース観戦ガイド

レース当日配布
レースやイベントの最新情報から、
お得な話題まで情報満載!
会場でGetしてね。

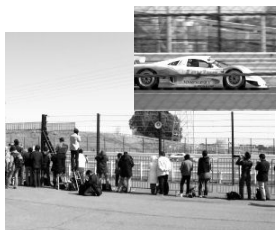
皆さん、こんにちは!鈴鹿サーキットレースアナウンサーの山本克典です!4月14・15日の鈴鹿2&4レースにおいて、私が場内実況とは別に、レース観戦初心者の皆様にも楽しくわかりやすい内容でレース実況・解説を放送することになりました。

サーキットに持ってきてもらいたいのが、携帯FMラジオとイヤホン!周波数を77.4MHzに合わせてもらえれば、僕の声をキャッチしてもらえるからね。



レースアナウンサー 山本克典氏

間近に迫力を感じたければ「激感エリア」がおすすめだ!!



激感エリア(第1コーナー手前イン側)の様子

より近くでレースを体感したいと望むファンに向けて、パドック内『激感エリア』が設定される。場所は2輪レース、4輪レースの両方に入れる第1コーナー手前イン側と、2輪レース時のみ入れる第2コーナーイン側。写真を撮るにもベストポジションだ。しかしそれよりも、空気が震えるのが伝わるほどの至近距離での観戦は、一度体験したら、その迫力に魅せられることは間違いない!!

※激感エリアの入場にはパドックパスが必要です。

※第1コーナー手前イン側は各レース決勝スタートから3周まで、安全確保のためご入場いただけません。

※第2コーナーイン側は4輪走行時はご入場いただけません。



激感エリア(第2コーナーイン側)の様子

快適さUPの観戦プランが増えました!

●V指定席はお得な特典もいっぱい! 2輪4輪共に決勝レースのスタート位置が目の前! ●

S2席の上部に位置するV席は、グラウンドスタンドの中でも一番高い位置に位置し(VIPスイート&テラスを除く)最終コーナーから1コーナーまでをほぼ見渡すことが出来る。また、新たに2輪レースのスタート位置が4輪レースのスタート位置に近い第1コーナー側に移設され、目の前は2輪・4輪共にスタートライン近くとなり、決勝スタートへの緊張感が高まる中、グリッド上に並ぶ上位チームの様子を見ることが出来る絶好のポジションだ。

★V席ご購入者特典1 ~モータースポーツシーズン開幕を記念して~ 折りたたみ式オリジナルクッション(非売品・限定)プレゼント!

- お渡し日時: 4月15日(日)ゲートオープン~16:30(予定)
- お渡し場所: グランドスタンドV指定席裏インフォメーションカウンター
- ※引換えは4月15日(日)当日のみ有効
- ※V指定席1枚につきクッション1個進呈



※写真はイメージです

★V席ご購入者特典2 VIPテラスに入場可能!

※ご入場はV席側からとなります。

前売りV指定席券(税込)
決勝日のみ有効・別途観戦券必要

5,000円

●VIPスイートでワンランク上の観戦を●

VIPスイートは上と下の2フロアに分かれており、前面ガラス張り、地上25mの室内観戦ルームです。冷暖房完備の快適環境で、カシオトライアングル(シケイン)から第2コーナーなど、東コースのほぼ全域を見渡すことができます。

VIPスイート(パーソナル販売)
(税込)

30,000円

■お申込は鈴鹿サーキット電話通信販売(059-378-1100)まで

■お申込み受付期間: 3月15日(木)~4月8日(日)10:00~16:00

★VIPスイートご購入特典 フォーミュラ・ニッポン第2戦、決勝レース直前のグリッドウォークにご参加いただけます。

■VIPテラス

V席最上部に位置するVIPテラスは、レースの迫力や音が生で伝わる屋根付きの屋外観戦スペースです。丸テーブルを囲んだ席でゆったりとお食事や観戦をお楽しみいただけます。各ブロックにはモニターを完備しております。
※今回はVIPスイート又はV指定席をご購入の方がご利用いただけます。

●特製カード型パドックパス枚数限定販売!●

パドックパスのカードフェイスは、SUZUKA 2&4RACEの公式ポスターをイメージしたデザイン。(シリアルナンバー入り)
・鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。
※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡しします。

※子供(3才~小学生)/パドックパスは特製カード型パドックパスではありません。
あらかじめご了承ください。

※当日、レース場ゲート横券売所にて、引換えにてお渡しいたします。



※写真はイメージです

★激感エリアへご招待!

パドックパスをお持ちの方はコースサイドにある特設「激感エリア」にご入場いただけます。

●フォーミュラ・ニッポン チームサポーターズシート●

昨年のフォーミュラ・ニッポンで大好評のチームサポーターズシートを今年も実施。お気に入りのチーム・ドライバーをサポーターズシートで応援しよう! サポーターズシートには特典もいっぱい!

※詳しくは鈴鹿サーキット公式ホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp>)をご覧ください。

●S1・S2・Eエリアでサーキットビジョンが楽しめる! ●

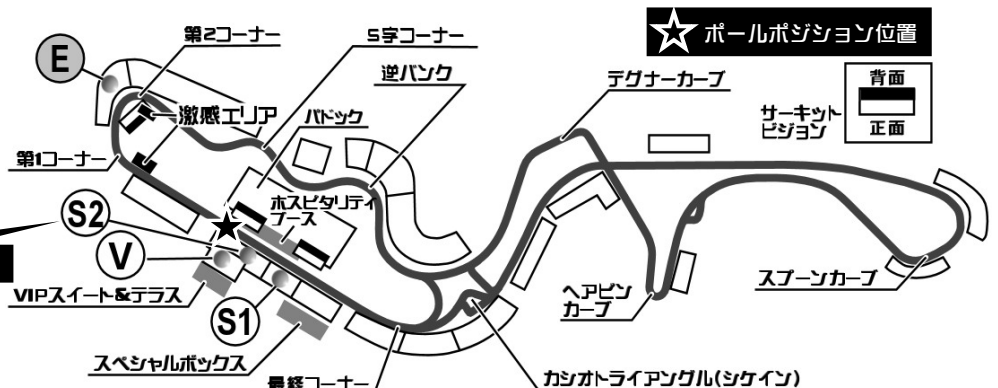
V指定席・S2席前とS1席前の常設サーキットビジョンに加え、今回はE席前にもサーキットビジョンが設置され、より快適にレース観戦ができるようになりました。

パドックパス(税込) 別途観戦券必要

	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
パドックパスA	12,000円	2,000円
パドックパスB	6,000円	1,500円



2輪スタートグリッドが移設! 新たなポールポジションはV指定席の目の前。
迫力のスタートシーンをV指定席から観戦しよう!



●2輪駐車場無料! 全日本ロードレース開催日限定

チケット好評発売中!

観戦券の提示で、金曜日にも入場可能! 3日間まるごと楽しめてお得!

前売り観戦券 (税込)		
大人 (パスポート付)	ペア(大人2名) (パスポート付)	中高生
5,000円	9,000円	1,600円

※ペアチケットは前売りのみの発売となります。

前売り指定席券 (税込)	
決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V指定席	S1・S2・Eエリア
5,000円	1,500円

前売りファミ得チケット (税込)		
S1・S2・Eエリア券付き (決勝日のみ有効)		
パスポート付き (土・日いずれか1日)		
大人2名 + 3歳以上高校生以下 1名セット	追加券 大人	追加券 3歳以上高校生以下
13,000円	6,000円	3,000円

※ファミ得チケットは前売りのみの発売となります。

前売りエリア指定席券付き観戦券 (税込)	
S1・S2・Eエリア券付き (決勝日のみ有効)	
パスポート付き (土・日いずれか1日)	
大人入場+S1・S2・Eエリア	6,000円

※エリア指定席券付観戦券は前売りのみの発売となります。

当日観戦券 (税込)		
	大人	中高生
土曜日	ゆうえんち入園料	
日曜日	6,000円	ゆうえんち入園料

当日指定席券 (税込)	
決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V指定席	S1・S2・Eエリア
5,500円	2,000円

※当日指定席券は、前売指定席券完売の際、販売いたしません。ご了承ください。

- ※高校生以下の方は、S1・S2・Eエリアへ無料でご入場いただけます。
- ※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。
- ※指定席券は決勝日のみ有効です。
- ※V指定席券またはVIPスイート(パーソナル販売)をお持ちの方は、VIPテラス、S1・S2・Eエリアへの入場ができます。
- ※観戦席の一部には団体専用席、メーカー・チーム応援専用席が区画されている場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ご案内:

ゆうえんちモトピアパスポートをお持ちの大人のお客様は、追加料金でご観戦いただけます。

- ・レース決勝日のご観戦をご希望の場合は、別途追加料金1,800円にてご観戦いただけます。
- ・高校生以下のお客様は、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットチケットセンター	4月14日(土)まで(販売時間 10:00~17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100	4月8日(日)まで(販売時間 10:00~16:00)
■インターネット SUZUKA ONLINE [http://www.suzukacircuit.jp/]	4月8日(日)まで (24時間受付)
●電子チケットぴあ ●CN プレイガイド ●イープラス ●ローソンチケット ●am/pm ●サークルK ●ファミリーマート ●サンクス ●セブンイレブン ●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重> ※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。	
チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)	

VIPスイート(パーソナル販売) (税込)
30,000円

- ※VIPスイートは鈴鹿サーキット電話通信販売のみの取り扱いとなります。
- ※3歳未満の方は無料となりますが、席はございません。予めご了承ください。
- ※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。
- ※特典など詳しくは当社ホームページをご覧ください。

パドックバス (税込) 別途観戦券必要		
	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
パドックバスA	12,000円	2,000円
パドックバスB	6,000円	1,500円

- ※パドックバスのご購入には観戦券が別途必要です。
- ※パドックバスAはピット上ホスピタリティブースでご観戦いただけます。パドックバスBはピット上へのご入場がいただけません。
- ※パドックバスをご購入いただいたお客様は、S1・S2・Eエリアへのご観戦、ピットウォークおよび感激エリア(一部除く)でのご観戦もお楽しみいただけます。
- ※ホスピタリティブース上から直接ピットウォークの並び列にお入りいただく事はできません。パドックの並び列より、順番にお並びいただけます。
- ※パドックバスは、当日販売もいたします。当日パドックバス券は、前売パドックバス券完売の際、販売いたしません。お早めにお買い求めください。

ピットウォーク券 (税込)	
	大人(中学生以上)
土曜日	2,000円
日曜日	2,000円

- ※当日、現地でのみの発売となります。
- ※小学生以下は無料です。
- ※安全のため、脚立等の持ち込みはご遠慮ください。
- ※ピットウォーク券は鈴鹿2&4レース特製カンパッジとなります。
- ※特製カンパッジは大人の方のみのお渡しとなります。



チームサポーターズシート観戦券 (税込)	
S1・S2・Eエリア券付き (決勝日のみ有効)	
大人(中学生以上)	子ども
6,000円	ゆうえんち入園料

- ※インターネットSUZUKA ONLINEのみでの販売となります。
- ※サポーターズシートの場所はS2エリア席となります。(席の指定ではございません。)エリアは一般のお客様もご利用になりますので予めご了承ください。
- ※小学生以下は当日券をご利用の上、チームサポーターズシート観戦券をお持ちの中学生以上のお客様とご同伴にて、チームサポーターズシートでご観戦いただけます。(チームグッズのプレゼントなどの特典は、「SUZUKA ONLINE」チームサポーターズシート観戦券をご購入いただいたお客様のみを対象とさせていただきます。)
- ※詳細は鈴鹿サーキット公式ホームページ(http://www.suzukacircuit.jp/)をご覧ください